

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-502734(P2001-502734A)

【公表日】平成13年2月27日(2001.2.27)

【出願番号】特願平10-518946

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 65/26

C 0 8 G 63/676

G 0 2 B 7/04

【F I】

C 0 8 G 65/26

C 0 8 G 63/676

G 0 2 B 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月15日(2004.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年10月15日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第518946号 ✓

2. 補正をする者

名 称 ノバルティス アクチエンゲゼルシャフト ✓

3. 代 理 人

住 所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-12 SVAX TS ビル

氏 名 弁理士 (7866) 津 国 肇

電話 (3502) 7212



書 査



4. 補正対象書類名 明細書及び請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書及び請求の範囲

6. 補正の内容



I. 請求の範囲の欄

別紙のとおりに補正する。

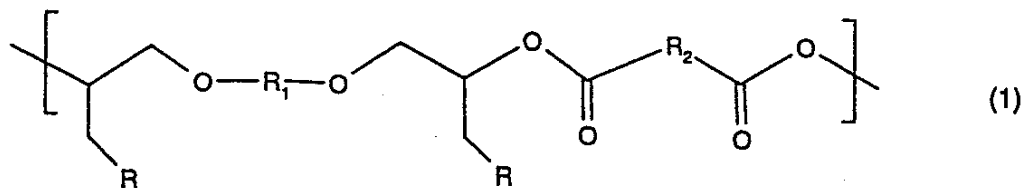
II. 発明の詳細な説明の欄

(1) 明細書2頁式(2 d)の下5行の「X」を「x」と訂正する。

(別紙)

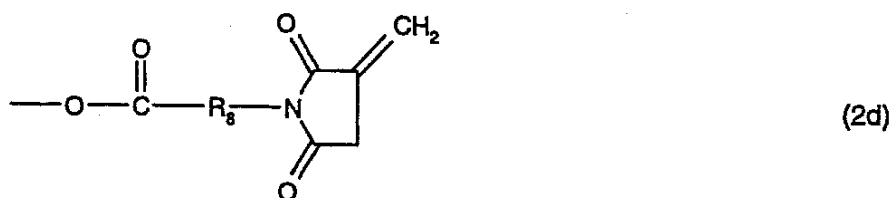
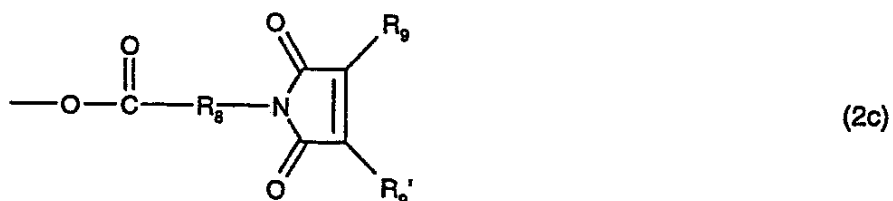
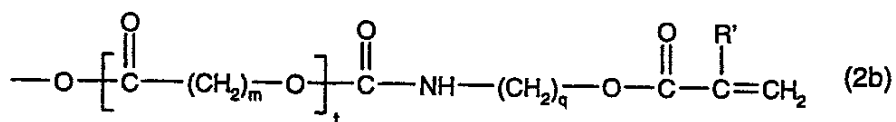
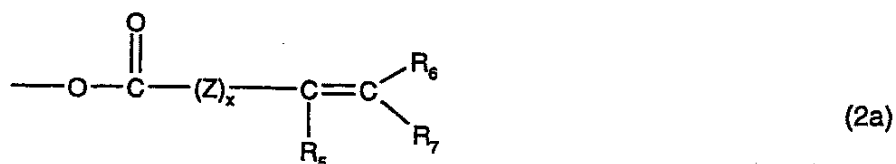
請求の範囲

1. 式 (1) :



(式中、

Rは、式 (2 a)、(2 b)、(2 c) 又は (2 d) :



(式中、

Zは、直鎖若しくは分岐の、C₁－C₁₂アルキレン、非置換若しくはC₁－C₄アルキル－若しくはC₁－C₄アルコキシ－置換フェニレン、又はC₇－C₁₂アラルキレンであり、

x及びtは、それぞれ他と独立して、0又は1の数であり、

R₅は、水素、C₁–C₄アルキル又はハロゲンであり、

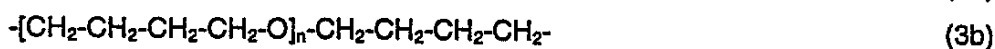
R₆は、水素、C₁–C₄アルキル、フェニル、カルボキシ又はハロゲンであり、

R₇は、R₆がフェニル若しくはカルボキシであるとき、水素であるか、又はR₆が水素、C₁–C₄アルキル又はハロゲンであるとき、水素若しくはカルボキシであり、

R₈は、C₂–C₁₂アルキレン基、フェニレン基又はC₇–C₁₂アラルキレン基であり、

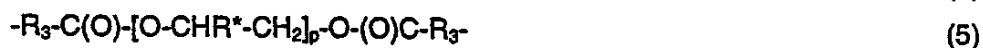
R₉及びR₉' は、それぞれ他と独立して、C₁–C₄アルキル又はハロゲンである)の基であり、

R₁は、式(3a)若しくは(3b)：



の基；又は20個までの炭素原子を有するアルキレン基（これは、エステル、ウレタン若しくはウレイド基の1個以上により中断されていてもよく、かつ／又はヒドロキシにより置換されていてもよい）、又は6～20個の炭素原子を有するシクロアルキレン基；又は6～20個の炭素原子を有するアリーレン基；又はアリーレンアルキレン、アルキレンアリーレン、アルキレンアリーレンアルキレン若しくはアリーレンアルキレンアリーレン基であり、

R₂は、式(4)若しくは(5)：



の基；又は20個までの炭素原子を有するアルキレン基（これは、エステル、ウレタン若しくはウレイド基の1個以上により中断されていてもよく、かつ／又はヒドロキシにより置換されていてもよい）；又は6～20個の炭素原子を有するシクロアルキレン基；又は6～20個の炭素原子を有するアリーレン基；又はアリーレンアルキレン、アルキレンアリーレン、アルキレンアリーレンアルキレン若しくはアリーレンアルキレンアリーレン基であり、

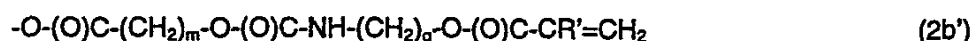
R'、R'' 及びR*は、それぞれ他と独立して、水素又はC₁–C₄アルキルであ

り、

R_3 は、20個までの炭素原子を有するアルキレン基、又は6～20個の炭素原子を有するシクロアルキレン基、又は6～20個の炭素原子を有するアリーレン基であり、そして

n 、 m 、 p 及び q は、それぞれ他と独立して、1～30の数であるが、但し基 R_1 及び R_2 の少なくとも一つは、式(3a)、(3b)、(4)又は(5)の基である)で示される構造単位を含むプレポリマー。

2. R が、式(2a')又は(2b'):



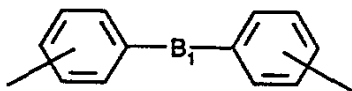
(式中、

R_5 及び R' は、それぞれ他と独立して、水素又は C_1-C_4 アルキルであり、そして

m 及び q は、それぞれ他と独立して、1～30の数である)で示される基である、請求項1記載のプレポリマー。

3. R が、 R_5 が水素又はメチルである式(2a')の基である、請求項2記載のプレポリマー。

4. R_1 が、請求項1の式(3a)若しくは(3b)の基、 C_1-C_{20} アルキレン、1, 2-、1, 3-若しくは1, 4-フェニレン、又は下記式:

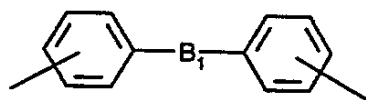


(式中、

B_1 は、直鎖又は分岐の C_1-C_4 アルキレンである)の基である、請求項1～3のいずれか1項記載のプレポリマー。

5. R_1 が、請求項1の式(3a)の基又は C_1-C_{20} アルキレンである、請求項1～4のいずれか1項記載のプレポリマー。

6. R_2 が、請求項1の式(4)若しくは(5)の基、 C_1-C_{20} アルキレン、1, 2-、1, 3-若しくは1, 4-フェニレン、又は下記式:



(式中、

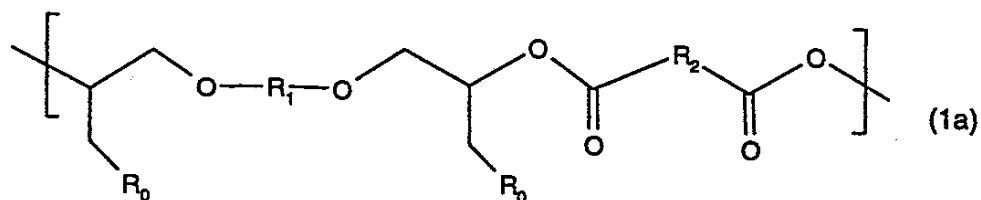
B_1 は、直鎖又は分岐の C_1-C_4 アルキレンである)の基である、請求項1～5のいずれか1項記載のプレポリマー。

7. R_2 が、請求項1の式(4)の基又は C_1-C_{20} アルキレンである、請求項1～6のいずれか1項記載のプレポリマー。

8. R_1 が、請求項1の式(3a)の基であり、そして R_2 が、 C_1-C_{20} アルキレン基である、請求項1～7のいずれか1項記載のプレポリマー。

9. R_1 が、 C_1-C_{20} アルキレン基であり、そして R_2 が、請求項1の式(4)の基である、請求項1～7のいずれか1項記載のプレポリマー。

10. 式(1)の構造単位に加えて、式(1a)：



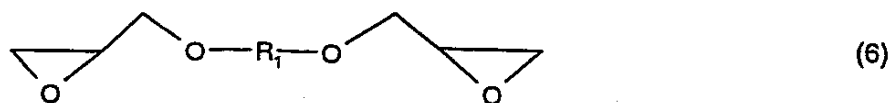
(式中、

R_0 は、ハロゲン又は基 $-O-(O)C-R_4$ であり、そして R_4 は、 C_1-C_{20} アルキル、 C_6-C_{20} シクロアルキル、 C_6-C_{20} アリール又は C_7-C_{12} アラルキルである)の構造単位を含む、請求項1～9のいずれか1項記載のプレポリマー。

11. R_0 が、ハロゲン、好適にはクロロである、請求項10記載のプレポリマー。

12. 請求項1記載のプレポリマーを製造する方法であって、

(a) 式(6)：

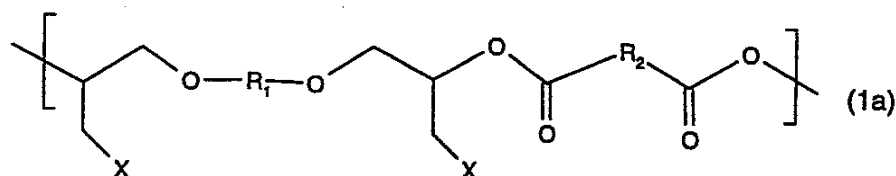


の化合物を、触媒の存在下に、式(7)：



の化合物と重合させ、次いで

(b) 式 (1 a) :



の構造単位を含む、(a) により得ることができたポリマーを、塩基の存在下に、式 (8) :

R-H

(8)

(上記式中、

R_1 及び R_2 は、それぞれ請求項 1 と同義であり、X は、ハロゲン、好適にはクロロであり、そして R は、t が 1 である、式 (2 a)、(2 c)、(2 d) 又は (2 b) の基である) の化合物と反応させることを特徴とする方法。

13. 更なるビニルモノマーの存在又は非存在下に、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のプレポリマーを架橋することにより得ることができるポリマー。

14. 更なるビニルモノマーの存在下に、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のプレポリマーを光架橋することにより得ることができる、請求項 13 記載のポリマー。

15. 式 (1) の単位当り更なるビニルモノマーの 0.5 ~ 80 単位、特に式 (1) の単位当り更なるビニルモノマーの 1 ~ 30 単位、更に特に、式 (1) の単位当り更なるビニルモノマーの 5 ~ 20 単位の存在下に、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のプレポリマーを光架橋することにより得ることができる、請求項 13 記載のポリマー。